

令和4年度 第2回防犯ボランティア会議（12月2日実施）

成果と課題

1 今年度の児童の登下校の様子について

<成果>

- 登下校の時、洪江ガード下で、防災服を着ている私に元気よく挨拶して、家路に帰る姿に接し、本当に学校教育と家庭での教育が行き届いていると思いきなした。
- よくまとまって登下校していて大変良いと思う。
- 登校時の旗振りの際に、元気に挨拶をしてくれる児童が多いので、朝早くからの旗振りは大変ですが元気をもらえる。
- 低学年に多いですが、学校まで一緒に歩いて来られる保護者が増えたと思う、見守りと子どもたちのあいさつの面でよいことだと思う。
- 低学年のかわいいあいさつも、高学年のきちんとしたあいさつも、目を合わせてしてくれるのでとてもうれしく思う。

<課題>

- ▲本丸一丁目方面の鉄道脇の下り道では、子どもが広がりを見せたり、急に駆け出して、自転車通行の妨げになっている。
- ▲登校の時にふざけながら歩いている児童がいるので、今後も見守っていきたい。
- ▲坂道のところで走ってしまう子が出ると、後ろの子も走ってしまい少し危ないと思う。
- ▲信号待ちの時、立ち止まる位置が道路ぎりぎりなので、車の走行に左への近寄りがあると冷っとする。

2 今後、家庭や地域等でできること

<いただいたご意見>

- ・家庭でもしっかり挨拶をすることが大事
- ・街で見かけたら気軽に声掛けしたい
- ・学童、幼児を中心とした行事（夏休み中）を自治会で企画し対面事業を計画したい
- ・岩槻の古い歴史ある街並みをボランティアと一緒に見学し知識を広げる。時間は下校後でもよい、各地域を分ける。
- ・家庭では、交通安全に対する意識を高めるため日頃から親子で会話をする。
- ・地域の方の顔が子どもたちにわかれば、今後助けてもらいたいときなど、すぐに声をかけられそう。
- ・地域との関連では、住民と顔を合わせたら明るい挨拶が常にある交流ができればと思う。
- ・地域での防犯パトロールやゴミ拾い行事などへの高学年の方ともしっかり交流があるとよいと思う。
- ・登下校時大きな声であいさつ等、声をかけてあげられたらよいのではないか。
- ・自分の子どもには「自分からあいさつしようね」と日々伝えている。
- ・子どもが卒業しても、子どもたちに挨拶をしていきたいことと、自転車、徒歩で出かける時は小学生を見守っていきたい。